

「一宮巡りとは」

一宮巡りとは、江戸時代の神道学者橘三喜が

延宝三年（一六七五）から二十三年かけて全国一宮を巡拝し、

その記録を『諸国一宮巡詣記』として著し、

これをきっかけにして多くの人々が一宮の巡礼を

行うようになったのがはじまりといわれています。

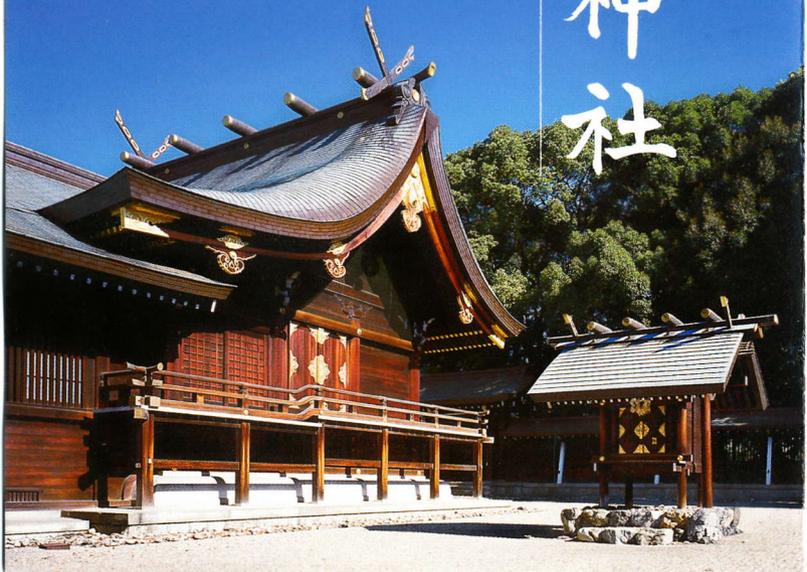
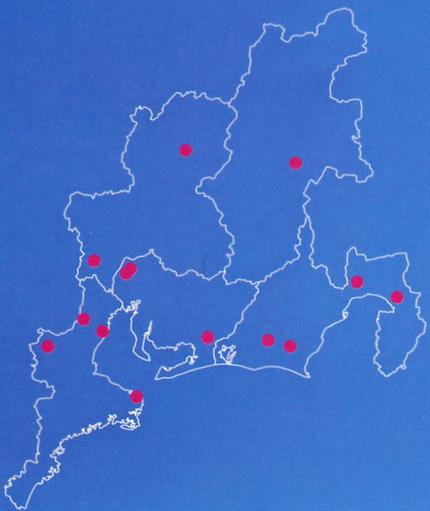
当社では、全国一宮巡りの記念として御朱印を頂く為の

全国一の宮御朱印帳も頒布しております。

尾張國一之宮

真清田神社

東海五県一宮巡りのご案内



尾張国一之宮 真清田神社

ますみだじんじや

御祭神

あめのほあかりのみこと
天火明命

御例祭

四月三日 桃花祭
とうかさい

【由緒】

真清田さまが鎮座するこの地域は、古くは木曾川の水田地帯として栄え、清く澄んだ水による水田から真清田（ますみだ）と名付けられたといわれています。

社伝によれば真清田さまの鎮座は、神武天皇三十三年、我国の開拓と日と同じくするものと伝わっています。平安時代、国幣の名神大社と認められ、尾張国一之宮として人々の尊敬を集めました。鎌倉時代には順徳天皇は多数の能楽面を、ご奉納になり、現在も重要文化財として保存されております。江戸時代には、幕府より神領として朱印領三百石以上を奉り、明治、大正には皇室国家から厚待遇を受けました。戦後は一宮市の氏神さまとして、厚い信仰心を寄せられ今日に至っています。

【一宮とは】

一宮とは、一の宮・一之宮とも書かれ、各地域の中で最も社格の高いとされる神社のことで、国司が任国に赴任した時等に巡拝する神社の順番とされています。律令制度の崩壊後も一宮の名称は使われ続けてきましたが、時代によって一宮が変遷したり、尾張国における真清田神社・大神神社等のように旧國名に二社以上の一宮が存在するものもあります。



東海五県一之宮一覽



- 1** 尾張國 真清田神社(ますみだじんじゃ)
愛知県一宮市真清田1-2-1 TEL:0586-73-5196
- 2** 尾張國 大神神社(おおみわじんじゃ)
愛知県一宮市花池2-15-28 TEL:0586-45-5846
- 3** 三河國 砥鹿神社(とがじんじゃ)
愛知県豊川市一宮町西垣内2 TEL:0533-93-2001
- 4** 美濃國 南宮大社(なんぐうたいしゃ)
岐阜県不破郡垂井町宮代峯1734-1 TEL:0584-22-1225
- 5** 飛騨國 水無神社(みなしじんじゃ)
岐阜県高山市一之宮町石原5323 TEL:0577-53-2001
- 6** 伊賀國 敢國神社(あえくにじんじゃ)
三重県伊賀市一之宮877 TEL:0595-23-3061
- 7** 伊勢國 椿大神社(つばきおおかみやしろ)
三重県鈴鹿市山本町1871 TEL:0593-71-1515

- 8** 伊勢國 都波岐奈加等神社(つばきなかとじんじゃ)
三重県鈴鹿市一ノ宮町1181 TEL:0593-83-9698
- 9** 志摩國 伊射波神社(いさわじんじゃ)
三重県鳥羽市安楽島町1020 TEL:0599-25-4354
- 10** 伊豆國 三嶋大社(みしまたいしゃ)
静岡県三島市大宮町2-1-5 TEL:0559-75-0172
- 11** 駿河國 富士山本宮浅間大社(ふじさんほんぐうせんげんたいしゃ)
静岡県富士宮市宮町1-1 TEL:0544-27-2002
- 12** 遠江國 小國神社(おくにじんじゃ)
静岡県周智郡森町一宮3956-1 TEL:0538-89-7302
- 13** 遠江國 事任八幡宮(ことのみまはちまんぐう)
静岡県掛川市八坂642 TEL:0537-27-1690
- 14** 信濃國 諏訪大社(すわたいしゃ)
長野県諏訪市中洲宮山1 TEL:0266-52-1919